

短歌

ひたひたと閑かな日々に一周忌近すきたりてそのみに過ぐるメ 野寿子
 不揃いの石段登る夫追うに上より聞こゆる詣で人の声中 道 和子
 日本の誇と魂やきつけてサムライブルーの会見たのもの稲 葉 朋子
 七月の雨に打たれてあじさいの夕暮るる庭ひときわ淋し岡 森 輝
 ドライブはストレス放すと云う友と風吹峠今日は越えゆく渡 辺 麗子
 ブザー鳴るチント音するぐずぐずバタバタ今日が始まる原 紀 子

KANKUU NEWS(関空ニュース)

■新店舗ぞくぞくオープン！

○ファーストフード店

「ファーストキッチン」がオープン！

ハンバーガーとパスタを中心に、スープやフライドチキン、ポテトといったサイドメニューを多数ご用意。営業時間は、早朝の始発便から深夜の最終便まで全てのフライトに対応しています。

場 所 旅客ターミナルビル2階

「関空ミナミのれん街」内

営業時間 午前5時30分～午前0時

○総合玩具店

「博品店TOY PARK」9月初旬オープン！

銀座に本店を持つ「博品店TOY PARK」は、「おもちゃ屋さんがプロデュースしたお土産ショップ」をコンセプトに、ご自宅用からギフト用まで対応した充実したラインナップを取りそろえています。

場 所 旅客ターミナルビル3階

営業時間 午前7時～午後9時30分

お問い合わせ 空港案内 電話 455-2500

町史編纂だより <102>

<100>でとりあげた天保4年(1833)正月の帳面『伊勢両宮 永代福栄講 御師外宮橋爪孫太夫』(表紙)によれば、この年の正月16日に決め事を行っています。①4匁5分の酒肴料は仲間より当家へ出すこと、②例年正月26日講中が当家へ寄合い、その年の相談をして会食をすることです。③お神酒は1升、④酒の肴は組重とし、⑤年々の初穂は5月の麦、11月の米の二度、年行司が講本(元)へ差し出し、講本がこの米・麦を売り払った代銀を講員の1人に月一分(1%)の利息で預けます。⑥毎年、講中のうち2人ずつ代参すること、⑦籤引の際、旅の費用として1人1貫500文を手渡します。⑧参宮の時は講本より出立、⑨「下向」の時は講中から「向井」(ムカイ)に出る、⑩ムカイに出る際には酒1升、肴有り合わせ1匁ばかりとする、⑪参宮の際の初穂料は100文とし太夫へ差し出すこと、⑫毎年冬御祓の節は御初穂料銀1匁を上げることです。

伊勢講の財政的な仕組みについては多くの事例報告がありますが、前回<101>で登場した宮本常一は「基金」という言葉を用いて明快に述べてい

伊勢講の取り決め

ます。講の維持のために必要な基金のつくり方には掛銭と基本財産の2つがあり、掛銭は貸付をして利息をとり殖やしてゆく方法、基本財産は水田寄進(伊勢講田)による方法です(『日本の宿』昭和62年刊)。嘉祥寺の永代福栄講は、掛銭の方法であることが前述の⑤からわかります。

伊勢代参者送迎の約束事が⑧～⑩です。各地には代参者を見送る際の「デタチ」や「サカオクリ」(境送り)、迎える際の「サカムカエ」と呼ばれる共同飲食の風習があり(宮本著『庶民の旅』昭和62年刊)、⑩は帳面に「酒むかへ」と書いています。出発よりも帰着の時を重視することは代参者の神格化によるものであり、元来は村境で出迎えて共同飲食したものであるといえます(桜井徳太郎著『日本民間信仰論 増訂版』昭和45年刊)。⑫によれば、冬には伊勢御師がやってきて、お札を配布していました。

お問い合わせ

教育委員会事務局学事課
町史編纂係 電話 466-5022